

巻頭言

このたびの東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた皆さま、そのご家族に、心からお見舞いを申し上げます。被災地の1日も早い復旧をお祈り申し上げます。

東日本大震災が発生してから4カ月あまりが経とうとしています。この間にはさまざまな医療支援が被災地に対して行われてきました。西洋医学による医療支援に加えて、鍼灸や漢方薬による東洋医学が被災者の健康維持や疾病治療に大きな役割を果たしてきたことは、私たちにとって誇りであり、そして喜びになっています。私も瀬尾事務局長と被災地でボランティア診療を行いました。鍼灸治療の有効性に改めて感銘を受けました。

さて、この第3巻では2編の原著論文が掲載されております。1つは天津中医薬大学第一付属病院・内分泌代謝科の呉深涛教授によるもので、糖尿病の慢性合併症に関する中医治療の総説です。呉深涛教授は、中国中医薬学会糖尿病専門委員会副主任や天津市中医薬学会糖尿病専門委員会主任、世界中医連合会糖尿病専門委員会副会長などを兼任され、全国優秀中医臨床人材、天津衛生局次世紀優秀青年技術人材、天津市青年名医にも選出されている現代中国の代表的な中医です。今回の論文を皮切りに、糖尿病自律神経障害、糖尿病性腎症、糖尿によるそのほかの合併症について長期連載する予定です。日本語訳は、連載エッセイ「日本人中医診療記」を執筆されている天津中医薬大学の柴山周乃先生にお願いしました。また、松岡尚則先生からは「『難経集註』の名の由来」という論文をいただきました。『難経集註』と呼ばれる一連の書について、その名の由来を考察した医学史に関する貴重な論文です。志茂田典子先生のシリーズ「婦人科疾患と鍼灸」の第2回目は妊娠・出産というテーマです。少子高齢化や高齢出産が増える中で大変重要なテーマだと思えます。

平馬直樹会長の連載「基礎理論と方剤を結ぶ入門講座」は、今回は「湿・痰飲の病証と治療」というテーマです。また、北川毅先生の連載「中医美容入門」の今回のテーマは「五臓と美容(1)～肝の特性と美容～」です。これらのシリーズも第3回を迎えて佳境に入りつつあるように思います。柴山周乃先生は、現代中国の中薬について問題点も含めてご紹介してくださっています。スナップ写真とともに楽しみいただければと思います。

第1回日本中医学会学術大会は、平馬会頭のもと平成23年9月3日・4日にタワーホール船堀で開催されます。ぜひとも会員の皆様にはご参加していただくよう心よりお願い申し上げます。

平成23年7月
日本中医学会雑誌 編集長
酒谷 薫